

第 3 回 箕 郷 地 域 審 議 会

総合計画前期実施計画事業に係る質疑

事業名	No.	質 疑	回 答
箕郷地域観光施設整備事業について	1	他地域の芝桜と差別化することも大事だが、まずは、芝桜が綺麗に咲き誇るように整備する予算措置をお願いしたい。	芝桜公園内の芝桜エリアについては、現在芝桜の植え替えを行っているので、芝桜で埋め尽くされるように整備したいと考えている。
	2	前回の地域審議会で駐車場の土手部分も綺麗にしたほうがよいのではないかと要望をした。最近芝桜公園を見たが、土手部分に除草剤が撒かれて茶色になっていた。芝桜を駐車場の土手部分に植えて手入れをするのは、大変だと思うので、つつじ等の低木を植えて整備するほうがよいと思う。指導は地元の県立農林大学校の園芸担当職員に仰いでみてはどうか。	駐車場の土手部分については、昨年まで芝桜が咲いていたが、土手部分を人が通行して芝桜が弱くなってしまったので、今年は除草剤を散布し芝桜を除去した。来年度は、芝桜だけではなく背丈が低い花を植える予定である。 また、県立農林大学校にも、どのような整備が適切であるのか相談している。今後も指導を受けて整備を進めていきたい。
榛名南麓広域営農団地農道整備事業について	1	榛名南麓広域営農団地農道の完成時期はいつか。	フルーツラインは現在二期工事を実施しており、箕郷地区は 1,833m、榛名地区は 1,960mを施行中である。 箕郷地区については、用地買収が完了して橋梁下部工がすべて発注済みであるが、榛名地区については、用地買収を鋭意進めている状況である。 今年度は榛名地区の用地買収の状況によっては、榛名地区の工事費が箕郷地区に投入され、橋梁の上部工製作が発注されるのではないかと。 現在、高崎土木事務所によると、今年度下部工が完了すれば、来年度以降、上部工製作・架設・道路工と施工できるので、24年度に舗装工を施工して、24年度末に箕郷地区については供用開始予定であるとの説明である。榛名地区については、現在用地買収を進めているので多少前後すると思われる。
	2	箕郷地区では営農団地は蟹沢地区しか見当たらないので、農道を活かした農地利用・土地利用や地域活性化はどのように考えているのか。	フルーツラインは広域農道であり、営農団地、遊休農地、耕作放棄地等があるので、この問題は今後群馬県や農協等、関係機関と協議をして検討していきたい。

事業名	No.	質 疑	回 答
榛名南麓広域営農団地農道整備事業について(前頁の続き)	3	フルーツラインが箕郷地区を通る距離が短く、芝桜公園や梅公園はあるが、多くの方が箕郷地区を通過するだけになってしまうのではないかと。箕郷地区に寄ってもらう方法を考えるべきではないかと。	完成後の観光関係については、箕郷地域には色々な観光スポットがあり、梅祭り・芝桜・わかさぎ釣り等の季節が限定されるものや、箕輪城や鳴沢湖等の季節を問わないものがある。 このような観光素材を活かし箕郷地域に立ち寄ってもらいたいと考えているので、フルーツライン完成後は榛名地域の観光機関等と連携を取ってパンフレット配布などを行い、箕郷地区の観光スポットを宣伝したい。
箕輪城保存整備事業	1	箕輪城整備計画の中で樹木の整備計画はどうなっているのか。	箕輪城は約19haと面積が広いが、現在このうち本丸堀一帯の樹木管理の実施設計を行っている。杉は10㎡に1本の割合で生えているが、これを25㎡に1本程度にするよう伐採する計画であり、どの木を残したら良いかを調査している。 堀底部分は全て伐採し、斜面部は劣勢木を中心に間伐、また外来種も伐採する予定である。樹木を伐採することによって、現在よりも光が入ってくるので、里山的な整備ができればよいと考えている。
	2	雑草を刈ると、その種が落ちてまた雑草が生えてくるような状態である。花づくり等が盛んに行われている地区もあるので、そのような団体に協力を得て、雑草を生やすことなく保存整備を行っていくのはどうか。	雑草の関係は、5月31日と6月7日に行った地元説明会の際、地域の方からも意見があり、「地元で何らかの形で応援できることがないか。」ということであった。先進事例として、群馬地区の二子山古墳では、コスモスの会がコスモスを栽培しており、こうした取り組みを箕輪城でも取り入れることができれば良いと思っている。今後地元と協議していきたい。

箕郷地域に係る事業についての質疑

事業名	No.	質 疑	回 答
箕郷生原線街路事業について	1	事業実施中の富岡生原線の拡幅工事は、県道高崎・東吾妻線から東側で、県道柏木沢・大八木線まで至らず、途中から道幅が狭くなる。今後の高崎市としての整備計画はどうなっているのか。	富岡生原線については、現在事業実施中である区間より東側から県道柏木沢・大八木線までの区間は約900mである。この区間は現在事業化になっていないため、現在の区間が完了後、都市施設課等と協議を進めていきたい。

その他の質疑

質問内容	No.	質 疑	回 答
ふれあい公園芝生広場について	1	ふれあい公園芝生広場の外周部にはジョギングや散歩をいている人がおり、芝生が痛んでいる。そこで、全天候型の合成ゴムを外周部に設置してもらえないか。	ふれあい公園芝生広場はイベント会場や幼児が安心して遊べるオープンスペースとして市民の憩いの場所となっている。特に、幼児・児童にとっては自動車事故の心配もなく、転んでもけがをしないで思いきり走って遊べる場所であり、その芝生広場にジョギング用の周回コースを設置すると、イベント開催時等使用できるスペースが制限される。 また、周回コースと芝生広場を隔てる植栽等がなく、外周部にはベンチ・トイレ・水飲み場があり、これらを利用する方とランナー等の接触も考えられる。ベンチ・トイレ・水飲み場から安全な距離をとり、周回コースを設置した場合、芝生広場として使用できるスペースが狭くなってしまう。このようなことから、芝生広場に周回コースを設置するのは難しいと思う。
道路と民地境界での構造物設置の際の建築基準法の扱いについて	1	道路の民地境界にブロック塀等の構造物を設置する際に、セットバックが行われずにブロック塀等を設置していることが見受けられるので、建築基準法を業者等に遵守させることが必要ではないか。	ブロック塀だけを建て替える場合も、道路が建築基準法第42条第2項の道路(道路幅員が4m未満の場合)は、道路中心から2m下がらなければならない。ブロック塀も家屋の一部とみなすという規定があるので、法律上はこのような解釈になる。
路上駐車について	1	天神橋南側の榛名白川堤防に路上駐車があり、ウォーキングをしている人達が不安に思っているので、何か対応はできないか。	路上駐車については、関係機関と連絡を取りながら路上駐車を減らすよう啓蒙に努めていきたい。
箕郷町史について	1	合併の際にDVD-ROMが配布されたが、DVD-ROMが見られない人もいると思うので、本による町誌を作ってもらいたい。町誌を作成する計画はあるのか。	合併時の合併調整方針に、箕郷町は町誌を作成する予定がないと調整をしたので、町誌編纂は考えていない。 町誌編纂をしない代わりに平成17年度に箕郷町時代の広報誌をまとめたDVD-ROMを配布した。図書館にはDVD-ROMもあり閲覧可能である。 個人宅にDVD-ROMが見られるパソコン等があれば視聴可能だが、パソコン等がない場合は図書館で閲覧をしてもらいたい。基本的には箕郷町誌を作成することは考えていない。昨年の地域審議会の際にも同様の回答をしている。

質問内容	No.	質 疑	回 答
箕郷町史について (前頁の続き)	2	箕郷町誌の作成を考えていない理由は何か。	合併時の合併調整方針に、箕郷町誌作成の予定が無かったためである。箕郷町は町誌作成の予定が無かったので、町誌の代りに平成17年度に広報誌をまとめたDVD-ROMを作成し配布したと解釈している。
	3	町誌を作成できない理由は予算上の問題なのか、他に何か問題あるのか。	予算等の関係ではなく、合併時の合併調整方針に、箕郷町誌作成の計画があれば、作成ができたのかもしれないが、町誌作成を計画していなかったため、あるいは作成する考えが無かったから作成できない。 当時は町誌ではなく、広報誌をまとめたDVD-ROMを作成し配布することで町誌の代わりとしたものである。
西毛広域幹線道路整備について	1	下芝一本郷町は近い距離にあるが、道路を通っていくと、なかなか着くことができない。この近くに西毛広幹道ができるようだが、どんな計画なのか。	西毛広幹道は、今年度から高崎西工区として県道高崎・東吾妻線から国道406号までの4.7kmが事業化となっている。6月に箕郷地域の事業説明会があり現在は地域の方々に参画してもらって道づくり会議というものを行っている。第1回目が終了し、今年度はあと2回の道づくり会議を経て今年度道路設計に入る。現在、測量も同時進行している。 高崎土木事務所によると設計に基づく用地調査、境界確定、用地買収等を来年度から進めていく予定である。